

政界で活躍した人たち

国会で活躍した代議士

河 口 善 之 助

文久三年（一八六三）一月七日、谷村の豪農河口善兵衛の長男として下谷二四番地に生まれた。（前の市役所敷地）

十九歳だった明治十五年（一八八二）七月、巖村の古家広泰らの主宰する鶴北自由党（のちに山梨県内の他の二党と合同して峡中立憲党となる）を結成し、谷村の横山吉朗らとともに参加し、幹部として奔走した。いわば郡内民権運動の草分けであった。

明治二十一年一月、県議會議員に当選、引続き明治二十三年三月、第六回半数改選により再選し、二十四年十月まで県政に活躍した。

明治二十三年三月には谷村村會議員に当選し、その間名譽職村長として明治二十六年二月四日から二十八年九月七日まで二年八ヵ月就任し、村長を横山吉朗に引継ぎ、議員の任期中、明治三十一年三月十五日に行なわれた第五回衆議院議員選挙に出馬し「天下の雨敬」と呼ばれ、若尾逸平と並び称された実業家の巨頭雨宮敬次郎（進歩党）を蹴落して当選した。この時三十五歳であった。

しかし、やっとかちとった衆議院議員の椅子も、たった三ヵ月足らずの運命であった。

当時は伊藤博文の内閣時代で、地租増税案が否決されたため、

その日六月十日解散が断行されたのである。

引続き明治三十一年八月、第六回衆議院議員選挙に出馬して再選し、三十五年八月まで国政に参画し、中央線開通等地元進展のために尽力した。

明治三十八年十二月二十八日、谷村町長に当選し、明治四十年四月二十九日まで就任した。

その間、甲斐絹同業組合長、有信貯金、山梨農工各銀行、谷村、桂川両電力会社などの重役、富士馬車鉄道社長などの要職に就任し、郡内地方の産業開発に貢献した。

昭和八年（一九三三）十一月十三日、七十歳にて惜しくも逝去された。

後継者 都留市上谷一丁目三番一号

河 口 諄

牛 田 唯 一

元治元年（一八六四）三月十四日、牛田八郎の長男として玉川村五十三番地に生まれた。

郡内の名門豪族で郡内甲斐絹織物の先達であった父八郎の跡を継ぎ、よく業界の発展に尽くした。

明治十一年東京に遊学し、野口英夫らと中村敬宇の同人社に学び和漢英学を修め、さらに二年間東京第一中学校に学び、また諸大家の門に遊んで帰郷、二十一年には三吉、盛里、開地三村連合戸長、二十二年同村長、二十六年には郡會議員を経て三十二年（一八九九）一月三十五歳、県議會議員に当選して参事

会員となり、三十六年十月まで県政の枢機に参与した。

明治四十年十月県議會議員に再選し、四十二年十一月七日県議會議長に選ばれ、四十四年十月五日の任期終了まで就任した。

いわゆる智謀の人として政友会山梨支部院内総務ともなり、郡内出身の胆力の藤田胸太郎（上野原町）腕力の後藤善四郎（大原村）の各県議とともに常に県政界をリードした。

なお、明治四十三年には雨宮敬次郎、小野金六らと協力して桂川電力株式会社を設立して取締役となった。

明治四十四年十月、県議會議員に三選されたが、大正四年（一九一五）三月、第十二回衆議院議員総選挙に出馬し、猛烈な干渉の中で苦闘よく政友会ただ一人の当選者となった。

ついで大正六年四月、第十三回総選挙にも再選されたが、活躍中不幸にも大正七年（一九一八年）十一月二日五十二歳にて病逝した。

後継者 東京都多摩市連光寺五三三の八

牛 田 弥 六

三 枝 彦 太 郎

明治六年（一八七三）十月二十四日、三枝彦兵衛の長男として東桂村鹿留三二九番地に生まれた。

学を志して十三歳にして上京し、錦城学校に学んだ。

明治二十六年近衛師団に入隊、日清戦争に従軍して勲七等青色桐葉章を授与された。

戦後郷里に帰り、三十四年九月に甲斐絹業組合雑誌記者とな

り、三十五年八月村會議員に当選し、三十七年四月二日退職まで地方政治の進展に寄与された。

明治三十五年ふたたび上京し、相川広作、神戸千代氏と協同して電灯広告社を創設し社長に就任し、今日の隆盛をみる社の礎を築き、後に中央電力、三井物産、富士山麓電鉄株式会社等の重役を歴任し、実業家として確固たる地位を占めた。

明治三十七年三月、日露戦争に応召し満州の拓野に転戦し勲六等単光旭日章を授与された。

大正九年（一九二〇）四十七歳のとき衆望を担い第十四期衆議院議員に出馬当選し、政友会代議士として国政壇上で活躍した。なかでも、中央線電化の建議を掲げ、議会通過に努力し、その実現をみる等その重責を果たした。

そのほか、郷土の繁栄と発展を期して谷村町水道・電気事業の推進、鍛冶屋坂隧道の開通（大正九年）谷村高等女学校の設置（大正十二年）東桂小学校の建設、児童奨学資金の設置等公共施設の整備拡充と住民福祉増進のために尽力された。

翁は資性剛毅にして清廉謹直、かつ情誼に厚く、豊かな政治的識見と経験をもって本県政界の重鎮として指導的役割りを演じた。この功により勲五等瑞宝章の荣誉を贈られた。

また翁は、多忙の中に寸暇を惜んで書にはげみ、天籟と号して豪放活達な書画を残された。

数多くの人達に慈父として敬慕されつゝ、昭和四年（一九二九）四月十七日、五十六歳の生涯を終った。

『神戸・三枝翁頌徳碑建設記念誌』より転掲

後継者 仙台市土樋一の十一の八 三 枝 文 彦

県議會議員として活躍した人々一覽

氏 名	生没年月日	住 所	任 期	職 業	後継者住所氏名	備 考
相川 伝一郎	天保4年7月20日 明治40年11月26日	桂村	明治10年11月 23・15・10 3・11・1	農業	都留市鹿留四七七 相川 一良	区長・学区取締 東西桂村長代理 村長
牛田 八郎	天保6年9月15日 明治32年11月24日	三吉村	明治13年10月 18・13・10 12・3・1	機業	東京都多摩市連光寺五三三・一八 牛田 弥 六	戸長 郡内機業の先覚者
小沢 篤郎	天保6年6月10日 明治21年11月4日	谷村	明治13年12月 13・12 3・3	宿屋	八王子市初沢町一四二九の三 小沢 亀七郎	戸長 都留郡第三副区長
中村 以正	天保11年10月19日 明治43年12月28日	禾生村	明治17年13月 17・13 2・3	農業	都留市四日市場一〇五一 中村 忠雄	都留郡第一区長 学区取締 村長
天野 隆 養	弘化2年3月20日 明治35年6月1日	桂村	明治17年15月 17・15 7・2	"	東京都太田区調布嶺町一の三六 天野 剛四郎	
佐藤 隆 亮	天保10年8月23日 明治26年3月11日	禾生村	明治21年17月 21・17 1・2	"	都留市小形山四七六 佐藤 光男	副区長 戸長
小林 源三郎	天保10年12月15日 大正8年9月16日	宝村	明治28年18月 28・18 9・12	造業兼 造油醸	都留市中津森九四四 小林 享	都留郡第二副区長 戸長
河口 善之助	文久3年1月1日 昭和8年11月13日	谷村	明治24年21月 24・21 10・1	会社 重役	都留市上谷一丁目三の一 河口 諄	代議士 村長 甲斐絹同業組合長
渡辺 福有	天保14年6月25日 大正元年10月25日	桂村	明治26年24月 26・24 9・10	農業	都留市十日市場一四四〇 渡辺 福家	戸長 村長 谷村商業銀行設立 十日市銀行創立
大津 賀次郎	嘉永元年12月29日 大正7年1月11日	開地村	明治30年26月 30・26 10・10	農業 兼機業	都留市大野四三二 大津 賀子	村長

氏名	生没年月日	住所	任期	職業	後継者住所氏名	備考
小林 信太郎	明治30年9月10日	宝村	昭和30年6月4日 昭和26年4月4日	教員	都留市中津森三〇二	小学校長
安田 敏雄	明治42年8月20日 昭和52年9月27日	谷村町	昭和26年2月22日 昭和26年2月22日	会社員	都留市つる一丁目八の二九 安田 光一	東京電力社員 参議院議員
安田 厚	明治35年7月12日 昭和12年6月8日	宝村	昭和21年5月14日 昭和14年10月10日	農業	都留市大幡四二二九 安田 五兵衛	郡会議員 村長
小山 治郎	明治24年11月11日 明治16年3月14日	谷村町	昭和14年10月10日 昭和6年2月10日	織物業	都留市つる八の一八 小山 元	町長
清水 潔	明治42年1月22日 昭和22年1月31日	盛里村	昭和6年2月10日 昭和2年6月10日	医師	都留市朝日馬場四二五 清水 寛	村助役 市長

本表は、市制施行以前までの県会議員とされた人々を掲げました。

氏名	生没年月日	住所	任期	職業	後継者住所氏名	備考
奥 孫三郎	文久2年10月19日 昭和16年6月19日	"	昭和6年2月10日 昭和2年10月10日	商砂米・塩糖卸	都留市中央四丁目二〇三 奥 隆行	町助役
渡 辺 欣造	明治25年6月11日 昭和9年6月28日	"	昭和2年10月12日 昭和10年8月4日	酒造業	都留市上谷二丁目一〇一三 渡 辺 愛三	郡会議員
鈴木 忠兵衛	明治26年5月17日 昭和14年5月14日	"	昭和10年8月4日 昭和8年10月10日	薬剤師	大阪府豊中市永楽荘 鈴 木 公 雄	谷村郵便局長 臨時代理者
森 島 春太郎	元治14年12月26日 昭和14年6月29日	"	昭和12年8月10日 昭和8年10月10日	織物業	都留市中央三丁目一〇二 森 島 孝治郎	甲斐絹織物同業組合 副組合長 富士馬車鉄道KK 取締役
小林 喜作	明治28年1月7日 昭和2年8月13日	谷村町	昭和8年4月10日 昭和4年5月8日	重役社	東京都小平市上水南町 小林 重 徳	町助役 町長
大 津 巖	明治21年11月3日 昭和7年5月18日	"	大正4年10月8日 大正元 年10月10日	農業	都留市大野三二 大 津 賀 子	村長
程 原 誠一	慶応元年5月17日 大正5年10月5日	開地村	明治40年3月10日 明治36年10月10日	農業	小金井市前原三丁目四〇一 程 原 信 夫	村長 益益銀行頭取
小林 友益	元治9年11月28日 昭和9年12月5日	谷村町	明治40年3月10日 明治36年10月10日	醸造業	都留市上谷二丁目一〇一五 小林 治 郎	町助役 町長
牛 田 唯一	元治7年11月2日 大正7年3月14日	三吉村	大正4年10月10日 大正3年10月10日	織物業	多摩市連光寺五三三の八 牛 田 弥 六	戸長 郡会議員 代議士
清 水 鬼一	慶応元年8月5日 昭和6年5月9日	盛里村	昭和32年3月10日 昭和31年7月6日	農業	都留市つる一丁目八の二三 清 水 正 賢	村助役 郡会議員 村長
横 山 吉朗	万延38年2月17日 明治元年11月18日	谷村町	明治31年6月10日 明治30年10月10日	農業	都留市中央三丁目八の三 横 山 脩 治	町長